



第 23 号

～ サレジオ会宣教ニュース ～

2010 年 11 月 11 日

新たな宣教師のために

親愛なる兄弟会員の皆さん、

ポーランドのチェストホーヴァより心からのあいさつを送ります。

3 年近く前、第 26 回総会は各管区に次のように求めました。「宣教の精神を促し、総長には「missio ad gentes」のために人材を寛大に提供し、信徒（協働者）や家庭からも宣教師の召命を促進する。」（49、日本語版：福音化の緊急性 27）総会のこの呼びかけにこれまでに応えてくれた 43 の管区に感謝します。ベトナムは、この 3 年間に 29 人の宣教師を送ってくれた、最も寛大な管区です。また、2010 年に、若いアフリカ - マダガスカル管区は、受け入れた宣教師よりも多くの宣教師を初めて送り出しました。

私は何度も自問してきました。ある教会、あるいは管区が、普遍教会の必要に応じてより多くの宣教師を送り出すことをやめるならどうなるだろう、と。たしかに深刻な結果があるにちがいません。教会は成長しなくなるでしょう。自らの必要性だけに目を向け、内向きになることは、カトリック性（普遍性）を失うことにつながり、宣教の道を歩まなくなり、その過程で自らの信仰の成長を危険にさらすのです。普遍教会の必要性に自らを閉ざすことによって、自らの挑戦に立ち向かう勇気も失います。

ラテン・アメリカでは、「私たちの貧しさの中から分け与える」ことが多くの実りをもたらすことを人々は発見しました。それは、自らの地域での福音宣教においてさえそうなのです。アジアとアフリカは、遠くから来た宣教師たちのおかげで最近受け取った信仰は、分かち合われるべき賜物であると確信しています。ヨーロッパのいくつかの管区の姿勢はたいへん意義深いものです。召命の激減と会員の高齢化にもかかわらず、寛大にも数少ない若い会員を宣教地へ赴かせています。これは教会の感覚です（会憲第 13 条）。その上、40 億人もキリスト者でない人々がいると思うだけで、私たちは落ち着いてはいられません！



福者ミカエル・ルア帰天 100 周年を祝いながら、ドン・ボスコに忠実であるとはどういうことか、私たちはドン・ルアから学びたいと思います。総長としての 22 年の奉仕の間、ドン・ルアは 31 回の派遣をもって 1465 名の宣教師会員を、アメリカ大陸、アフリカ、アジアの開かれたばかりの多くの宣教地に派遣しました。ドン・ルアは、毎年 1 月のボレッティーノ・サレジャーノで宣教地の新たな展開について協力者たちと分かち合い、始まろうとするその年の大胆な計画実現のために支援を求めました。ルア神父に倣い、今年は、第 141 回宣教師派遣の裏りと、2010 年 7 月に総長によってあらためて打ち出された今日のサレジオ会宣教の緊急な必要性について、皆さんに紹介したいと思います。

毎月 11 日に、私たちは宣教師たちのため、また新たな宣教の召命のために祈ります。

サレジオ会召命の中の宣教師召命の識別を助けるため、福音を知らない人々へ遣わされる宣教師たちのたどる歩み、その諸段階をここにあげます。

1. 初期養成において宣教に関する最新の情報と養成がなければ、新たな宣教師の召命は期待できません。
2. この歩み全体は、総長にあてた願書をもって始まります。言うまでもなく、願書は会員の最初の識別に基づいて出されるものです。
3. 第一に、宣教召命についてよく識別することが大切です。総長にあてた願書が提出された後、候補者の長上は、識別の過程において、規範に基づいて本人を助けるよう求められます。支部、管区、宣教部門の 3 つのレベルの間のよい協力関係の鍵となるのは識別です。何よりも、養成担当者たちとの相談の上での管区長と管区評議会の見解は、非常に大切です。

4. 識別の結果、肯定的結論が出された後、総長は候補者を将来の宣教地に任命します。本人の人柄と能力についてよく知ることは、将来の予測できない事態を避ける助けとなります。その後、十分な準備と円滑な異動を進めるため、関係する2管区の管区長の間で話し合いが行われます。

5. 第142回宣教派遣の新宣教師養成コースは、ローマ本部とトリノで行われます(2011年9月1日-25日)。コースの目的は、宣教師としての召し出しによく応えられるよう助けることで、この召命の文化的、人間学的、神学的、サレジオ的な次元を深めます。ローマで2週間学び、私たちのカリスマの起源への巡礼に1週間をあて、すべての宣教師にとっての生涯養成の歩みへと導きます。

将来の宣教師の適切な識別と準備を進めるため、できるだけ早く皆さんの宣教師候補者の氏名を私のほうへ送っていただくか、あるいは本人たちの願書を直接総長へ(できれば2011年1月31日までに)送ってくださるよう、お願いします。



ドン・ボスコのうちに。2010年11月11日 チェストホーヴァにて

Václav Klement
Fr. Václav Klement, SDB

第141回派遣の宣教師たち

Name	Prov.	Destination
ABARCA, Alfonso Patricio	MEG	Peru
ALHPONSE, Patrick	INM	Great Britain
BAXA, Vladimir	SLK	Azerbaijadian
BEREK, Antonio	ITM	Belgium Nord
BINU, George	INK	Brazil-Recife
CASTAGNA, Vittorio	IME	Guatemala
COSTANTINI, Mauro	ICC	Angola
CORONEL, Daniel	PER	Ireland
DEMBELE, Florent	AFO	Turkey
DINH, John Baptist	VIE	Brazil-Manaus
DOS SANTOS, Mario Gaspar	ITM	Mongolia
EKKA, Suresh	ING	Bulgaria
FITWI, Kahassay	AET	Cambodia
GALLEGO, Vázquez José	SLE	Peru
HUYNH, Giuseppe	VIE	Uganda
JEBARUS, Andreas	ITM	Holland
JIMÉNEZ, Gabriel	MEM	Middle East
KIM, Dae Shik Alexander	KOR	Malawi
KOLLAPALLIYIL, Thankachan	INH	India-Delhi
KUKUCZKA, Robert	PLS	Hungary
LE, Ho Quoc Dung Peter	VIE	Sudan

Name	Prov.	Destination
LE, Van Trung Peter	VIE	Sudan
LE, Mac Khai Peter	VIE	Papua New Guinea
LIPOWICZ, Wojciech	PLN	Austria
MICHAEL, Charles	INM	Cambodia
MUSAFIRI KALUTA, Maximillian Kolbe	AFC	Brazil-Recife
MUTUKU, Steven	AFE	Azerbaijadian
NGUYEN, Huu Tien Peter	VIE	Peru
NGUYEN, Francis Xavier	VIE	Pakistan
NGUYEN, Joseph	VIE	Cambodia
NONGRUM, Simon	ING	Belgium Nord
PHAM, Joseph	VIE	Bangladesh
POLESZCUK, Damian	PLN	Ireland
RYNGDONG, Eugene	ING	Uganda
SHAURI, Pascal	AGL	Papua New Guinea
SIMPLICE, Tschoungang	ATE	Austria
TOGO, Augustinus	ITM	Ecuador
TRAN, Bosco	VIE	Hong Kong
TRAN, Tai Hoang Joseph	VIE	Brazil-Manaus
VALSECCHI, Marcello	ARN	ARS-Patagonia
ZENISEK, Pavel	CEP	Bangladesh



Salesian Missionary Intention

南米サウス・コーン地域のサレジオ会のために

南米サウス・コーン地域のサレジオ会が、ドン・ボスコの使徒的情熱に立ちかえり、またラテン・アメリカ司教団の大陸的使命にあずかり、貧しく危険にさらされた若者たちのために勇気ある選択を行いますように。

若い職人見習いのためのセンター、ブラジルのCESAM、パラグアイのDon Bosco Roga、チリのProgramma Don Boscoほか、ウルグアイ、アルゼンチンの社会事業のために特別に祈りたいと思います。